新板

武家雛形

二

特許局圖書館
冊 號 類 門
W373-H28
1200501835281

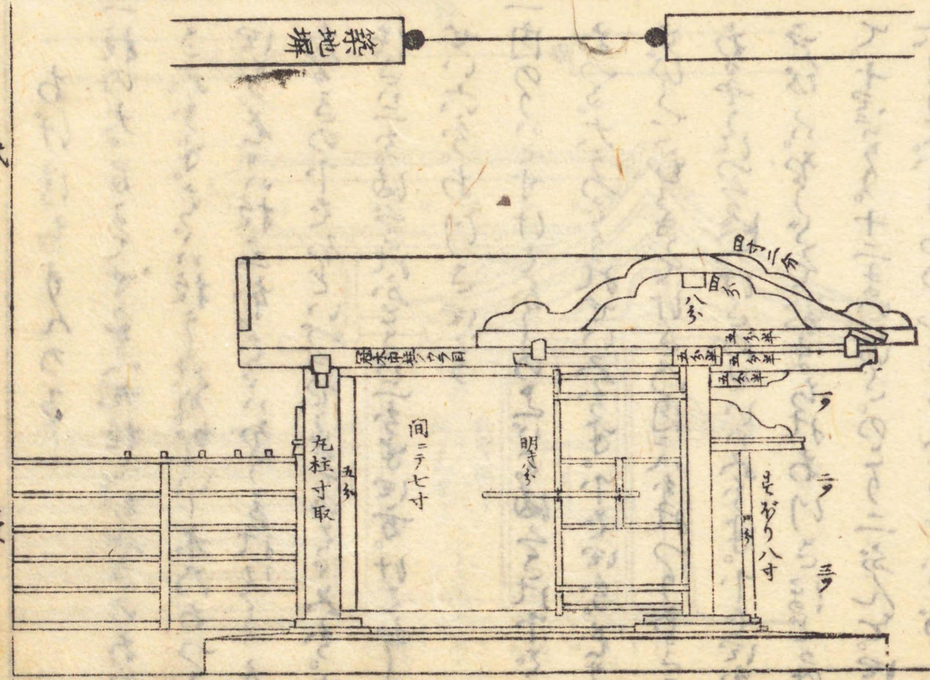
雜形目錄

一 土門
二 棟門
三 藥醫門
四 向唐門
五 平唐門
六 向屏重門
七 平屏重門

特許局圖書
12 9 1
691
大阪市天王寺区上本町六丁目
特許局圖書館
W373
H28
特許局圖書
國 函 15
號 106
部 1 架 4
冊 6 號 23
I種
W
1200501835281

八 舞臺
九 鞠懸
十 廣間
十一 納戸構
十二 厩

上土門



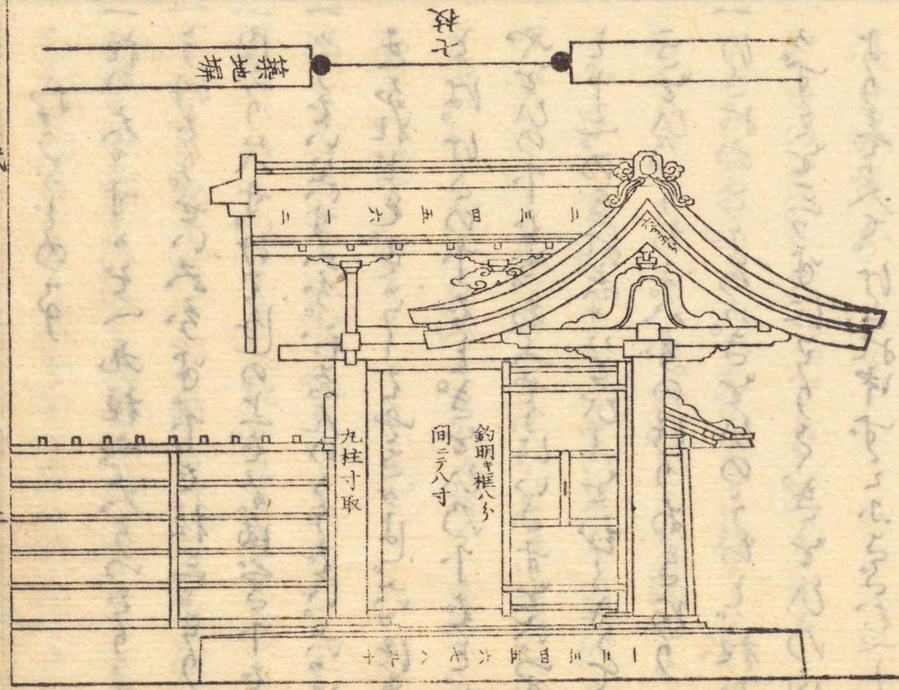
あげたちりんの事

一柱の大サ百ゑて寸ゑ〳〵丸柱こ。かぶきのあつさ五分ゑ。ちゞい柱うれめ。かゝい一本乃あつさ四分。長サハ柱二本。ちゞいかゝ立れたるうたの下ゑたるといづる。かゝぶそのちゞみ五分。わたさ二分。海ぐれふきさ二分ゑ四方。けゝ分〳〵のせい六分。ありさ四分

一内のうハ七寸けゝ分〳〵の上バ。海ぐれ下ゑ〳〵あつる。大うつぐれせい五分ゑ。下ゑ四分。長サハ三ぶ〳〵こむきてけゝ乃内二八ぶれつりわさのあるゑたつる。けゝのせいハ五分ゑ。下ゑ四分戸びハ。かゝぶそ〳〵かまちれありさ二ぶ〳〵みて。十三ぶ。十二まいいぐ。のとり二ぶんと。四ッにうて。かまちのふとさふさぶむ。ゑ一。う海ちのわりさ八分

一ちいぐれるサハぢきゑう。かゝぶそこの下ゑと三ッふとりて。二ぶんがちいぐのたゝさなり

棟門



むねうどのすん

一柱の大サ寸ゥぞ〳〵九柱之。大うつぢり。めうけぢり。せいめ分は。下ぢ柱二ッゟり

一内のりハ八寸。けた[illegible]の上ぢん。面ぐさ下ぢ近

一ゟうぢいハ六寸五分。むねんのゟうぢい。六ッほを

ほ[illegible]れどを。をこ[illegible]ゟ[illegible]さゞは。六ッほを

とは。けさの下ぢとぎをひの下ぢと。か

やをひの下ぢも。あゝやにいさすを六ッほを

と中之。のされ長サハどび〳〵をゑ〳〵きて。

さをひのうちよ。八分のほりあきなり

一けされかぢゟハきをひのうちと。柱か

ゟずこを二ッほにゟりくきをひの内

より巻ッ入て。けされ中ずこふさぎむべし。

むねんの長サハ柱なゟずこと。けさの

中ぢこん。うゝぶをと〳〵あつる。さをひ

のふとさハ。たるさのせいと下ぢと。

きをひのせいと。かやゟひのせいは

たるさの下ぢ二ッ。ゟるさのふとさハ。

柱五ッふとりて一ぶん。せいハ二分ほ[illegible]ゟる

ゟて二分さく。ひるん。さをいのとゟは。

おりめたるさのたるゟぢ。ゟるかいたるさ

れ。せいはゟ

一けさのせいハ六分。下ぢ二分ず

一ゟぶさのあつさハ分ず。ぢい柱ゟ〳〵れめ。

ゟゟぶて。ぢいハ分。あつさ二分。面ぐさハ

二分ず四方。けさゟふ〳〵せいハ六分。あゆさ

四分。ゟゟいゝ木のあつさ四分。長サハ柱三ッ。

ぢいゟゟだてれつ〳〵ゟり。たるされ下ぢ

ゟどいぢるなり

一面ぢゟの大サハ分。ゟをいさのあつさ三分。

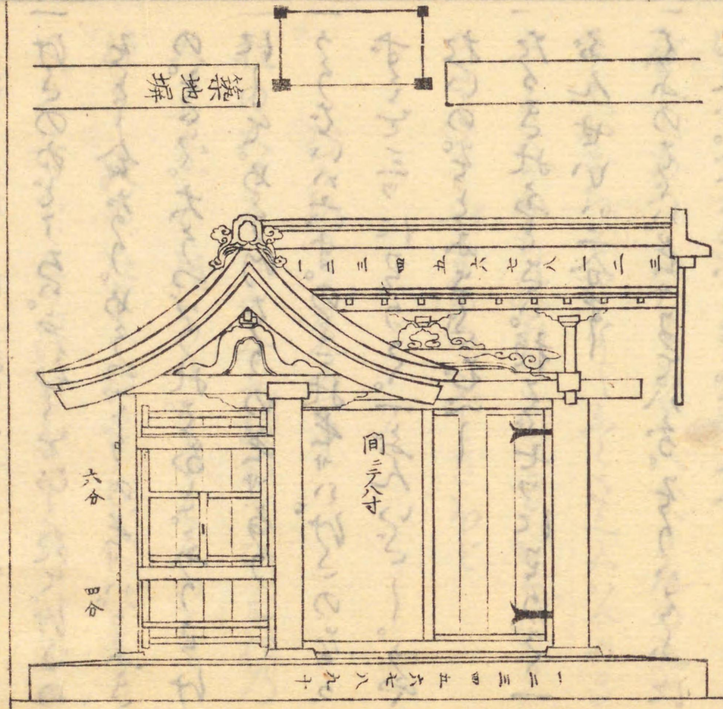
長サハめうつぢりと。れなすぐゟぐさ

一ぢび〳〵ゟゟだてふ。ゟゟちれ。あつさゟど

うけて十二まひにゟり。十まひいさ。のゟり

二分と。四ッふとり。一分をゟゟちれ。ふとさに

さぶむべ〜かまちのあつさハたゞ寸そ八分。
上下れまくさ。けそ巨〜三分一ツ。ゆるゝ
上下のさんのあい。さんゝ〜れめ。中にさん
四本。ゆ上さんのうゞそ六本。そつそう乃
長サハ。ゞむ〜そゞ。三ッにゝう一ふん。そゞハ
うゆちゝゞ。さ巨のひ〜き。さんゝ〜のめ。
そゞのさ長サハ。百ゝ三ッゝゝう一ぶん。うぶ
さの長サハ。そふれそとゞ八ッ。中ずゝきッ
いゝてゝゝゝゝ。そふのそゞハ下とめにく
七分。上ゝ三分ま〜。下にそゝ分ま〜
一ゝいぢの高サハ。かぶさの下ゞとぢぶゝと
ゝ三ッにゝう。二ぶんゞゝいぢ乃高サ
なり。ゝいぢのそゞりハ。八すゝゆちの。
ゆとさハ。ゝゝ〜いさハ。ゝ〜ゆのあるよハ。
ゝ川いさ。ゝ〜ゆなさよハ。よゝふゝり
歟〜〜



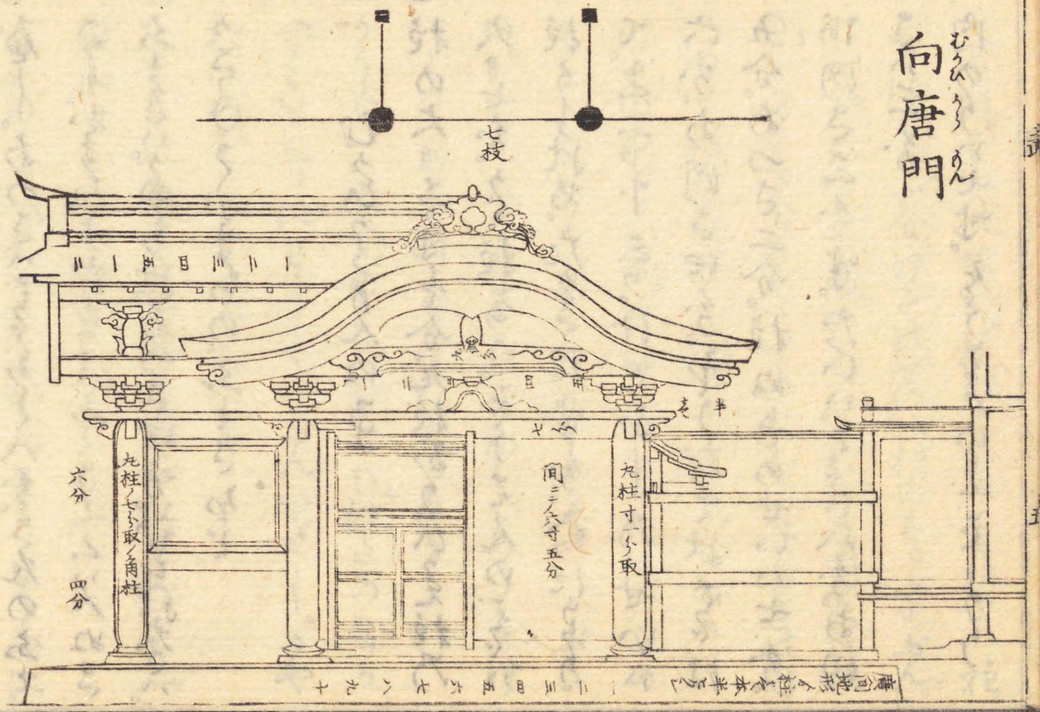
やくいゝんの子
一柱の大サそす巻ゞへおりさハゞそゞあゝく
六分。ねゝ〜柱のふとさハ。ゆ柱ハゝゝ方。
めんハ十めん。ひゝえぬきゞゞハ。むゝえ柱乃。
めんゝち。あつさハぬきのそゞよぶん

一大うりぐりはせいい。柘のそぐにて六分　柘
三ッにわり一分。けさはせいい。柘のそぐはぶん。
下だ大うつぐりの。下だわど。かぶきのせいい柘
のそぐにて六分。そぐいせいうはめ。ぶさはぶ肉
乃つと。むしのけさはぶすこと。合わり
一けさのあどころ。ぶんむ〜とひうにて。けさの
そそ〜合なり。めうつぐりの長サいうぶき
のぞそて。大うつぐりはぶあと。ふうわけ
にして。めうりのぐりの長サわり
一ううぐいい六寸。のさはぶ長サいけさのなら
ずこを三ッにわうて。一ぶんいぐ〜。うや
柘いのぞとふさぶむべ〜
一たるきはふとさい。柘そぐ七ッにわうて一
ぶん。せいい二分ま〜
一そふのそぐい。長サ五て八分。そういそふに
て九分。上ふ三分ま〜。下ふ一分ま〜
一そぐ〜い。柘うちのうと。十二まひにわう
ていうぐ十まいのこう二ぶんをはッ
にわう。一ぶんをうあちのぶとさてさぐむ
屋〜。あつさいそぐあうく八分。さんのふと
さとかまちとれなぐふとさてぶうんぬき
ふとさいうあちはあつさは方。むぐはは大さい
うさひうくかまちのふとさわど

むうひううんのう

一柘の大サを寸を分。柘あり。ひうえ柘乃
大サ七分。うく柘あり。そうそんのそぐい
柘うはは。たうさ柘はは分。ふッにわう
て。上二ッ下三ッ。けそふ〜乃せいい
六分。あ川さは分。そうだてはそぐは
五分。あつさ二分。柘ぬきのせいい七分。
川川さ三分は。たいいそぐい八分。あり
さい三分
一内のうい七寸。そうそんの上をより

向唐門



柱ぬきされ下ぢへおつるなり

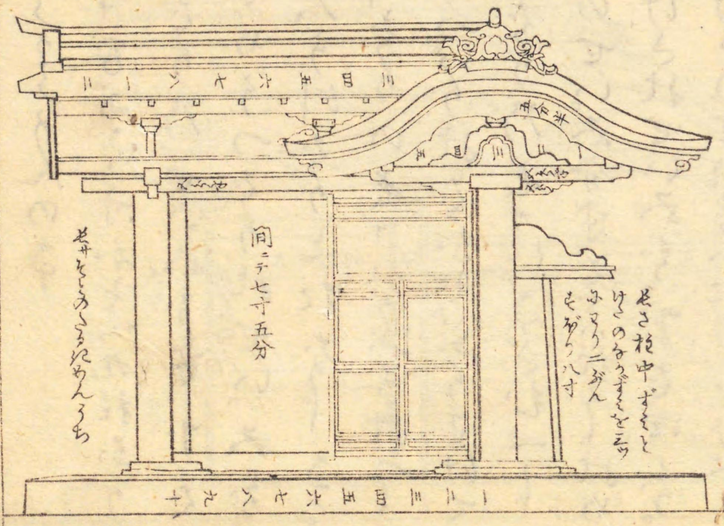
一大升の大サ柱あそ八分。みッまにとりてきてくるゝ言サい右の五ッまをニッま。升の言サにさゞむべし。戸ちりくをニッまとり。まさ通すれ言サをみッまとり。二ぶんくみ。一ぶんちさめん。二ぶんくり。ひぢ紀の下ぢい。大升ニッまとり。一ぶんぜいい三分まし。はゞき升の七サハ。大升のそとのつゝと。ま紀升れ。うちのほゝと。あふるゝ

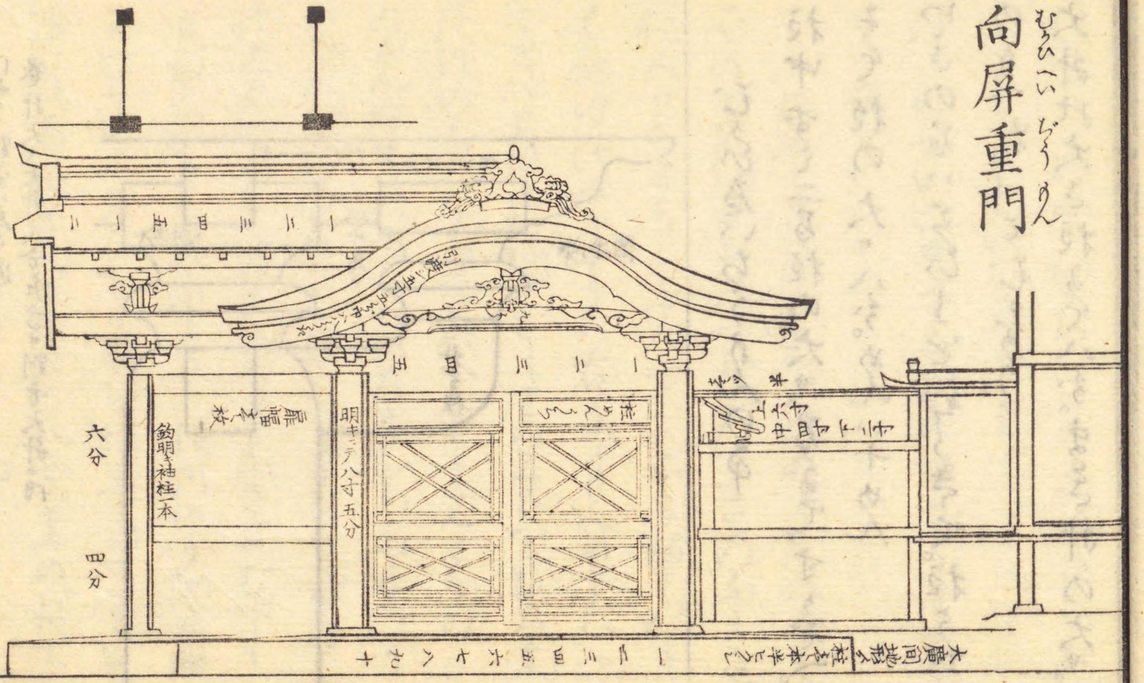
一たるきのふとさい。柱六ッにとり。一ぶん。せいい二分まし。こまいのぢいたるきれ下ぢ。めんうちせいい。くる紀のせいまぶん。かやをいのせいい。たるきたるけ。うゝれめ下ぢい。たるきの下ぢきッま。うゝかふのあはさいかやをいのせいまぶ。せをいかやおいぢ一ぶとぶ。ぜいい六分。下ぢ

一さうまきせい。九分。あつさ。そてきうのところ
ゐて三分ぶ。たいあいぢのぶとさハ分
一かくそふ。ぢちれるサハ。ゐうちにッよりう
て。一ふんをうくそふれとぢにく。そぢうひ
よむけハ。よすうぐいよある。いぢうひれハ。
ゐうちゐッふりうて。ふう三ッ。右のすぢ
ひのすきにう。ぢくやふ作べし。のき
れ長サハ。ゐうちにッにうり。一分を。分と
きやう中ずとく。かやねいの。そとのつう
よさぐむべし。そふのそぐハ。くそ乃
長サふく八分。二うやくにくでんあう
一かくこ戸。あちれふとさハ。ゐう三間のうを
せにより。一分をかまちれ。ふとさよ。
さぐむべし。あつさいそぐにて八分。きちやう
めんのふとさハ。そぐ六ッふりう一分。さん
のあゆひやうハ。下のけそふしよ。さん
れそぐ三分一うけ。上も三分一うけ。上下

のさん乃うちのりを五ッにりうて。上のさ
まのあい二分。下三ッハ上さんのうそ七ッ。
さん乃あいさんぐれめとはやせども。
すこしせまるがよし

ひらとうもん
平唐門

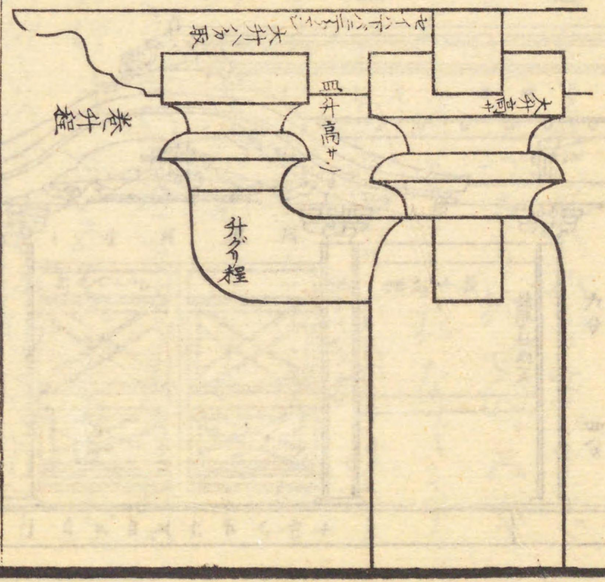




えんのき

一柱の大サ百ふく。寸かぞへ九柱あり。
大うづりの。せいみうは。下を
三分は。めうつぢりせい。みう。
下を。大うづりとれなぢ。
めうづりの長サ。うぶされつ
と。大うづりせとふし。ふりをけて
めうつぢりの長サに。さぢむべし
かぶさのせい。五分は。ちぢい柱うれめ
むのけされせいみう。下を四分。
のき乃けさのせい。そふにてさぢむべし
下を四分。そこ乃ねどころ。をびしを
むきて。けさのうちに。八分れはり
あきの。ほるやうにをべし
一かしそふこうのうり。右の。む
くひうこもんぢぢし

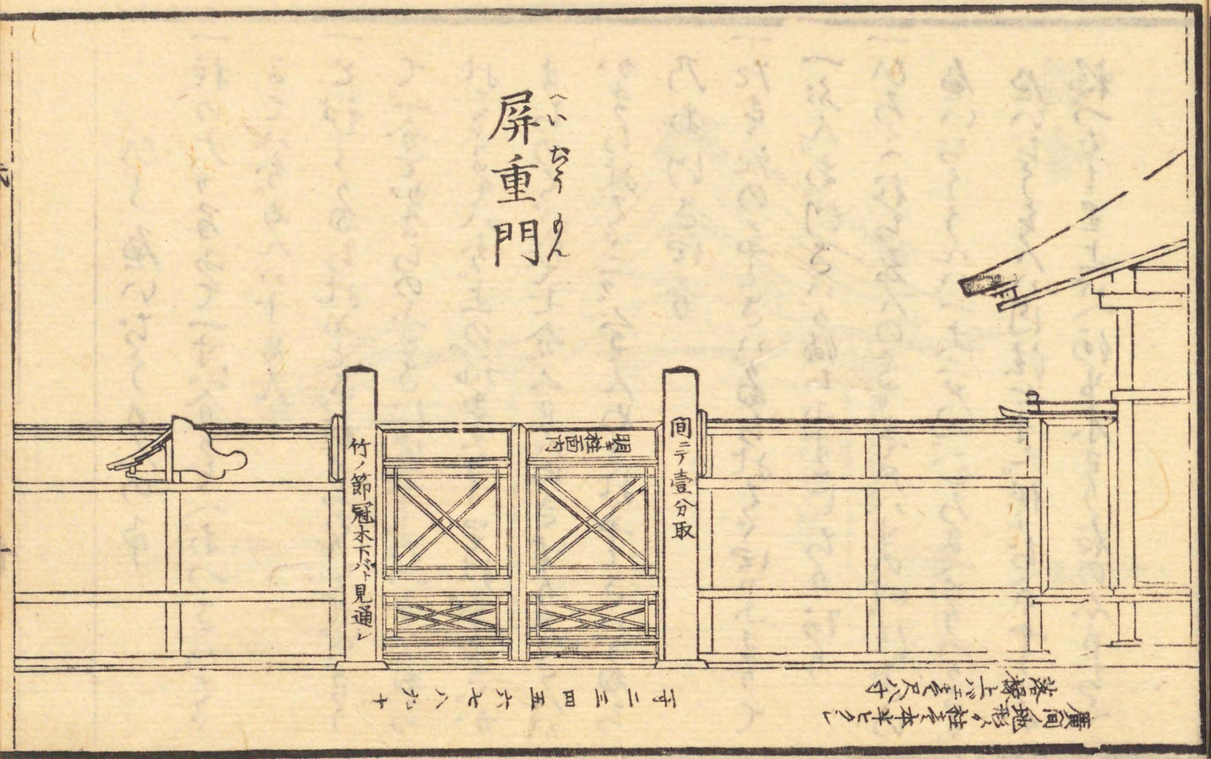
大升と大サ柱柱
同高サ割方ハ左と通り
巻升大サ大升三八分ニ高サ割方大升ニ同



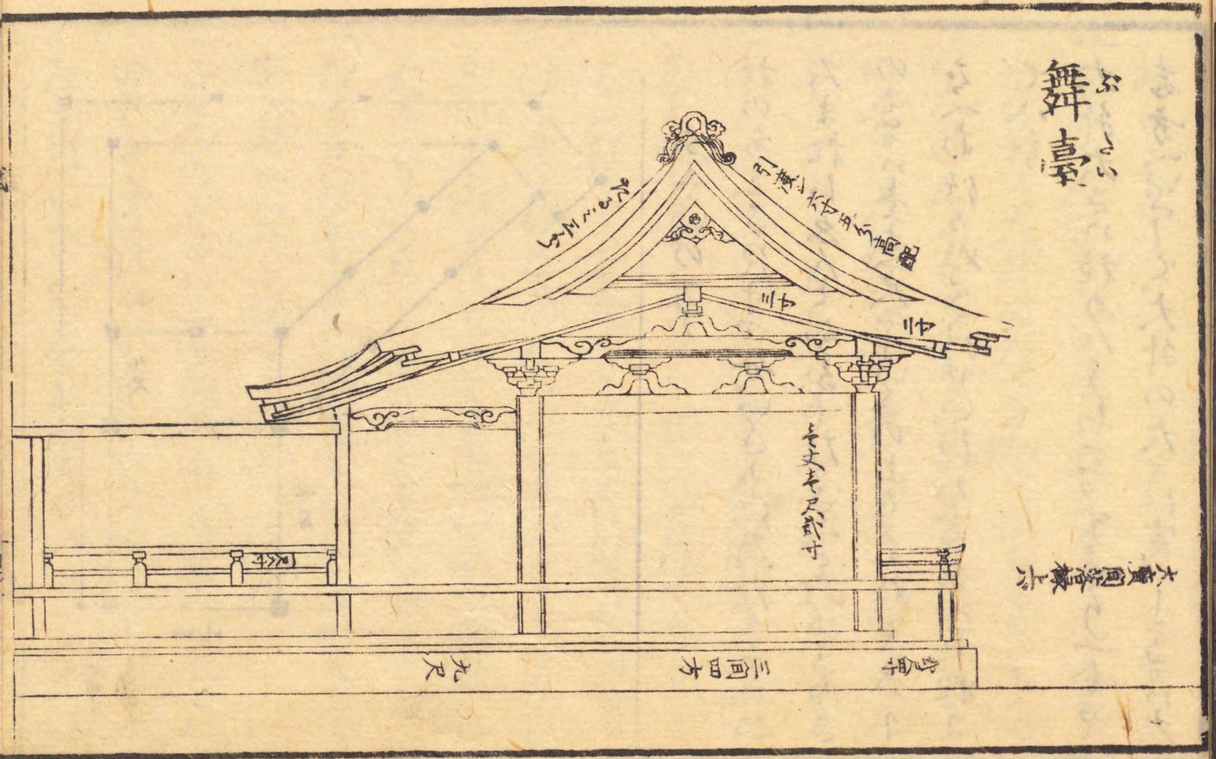
むろひろいだうめんのず

一柱中ずと二目柱の大サ。目まで。すうぞへ。
そて柱の。大サ八分。めん八十めん
一口さのるハ。ろびゝを。ゝきて。柱うち
のりへ。ゝ。こむなり
一大升ハ大さ。柱まて八分。まさ升の大サ。

柱まて六分。ゝ。ぢさのふとさハ柱
こゝろり。ぜいハ二分ま〳〵
一けさのぜい六分。下ぢ。ゝ。こう目ぜ
ぜい九分
一ろふれふとさハ。ろ。ぢれ七サまて八分。そ
ぢのうへにぢろ。ゝ。一分。たるさ乃ふとさ。
柱ぬりふとり一ぶんぜいハ二分酒〳〵。かう
ち酒のはたり。ぜいハ右〳〵めんのごと
一こるサハとびれ。ゝ。ぢ。ぢ。ゝ。目の上ぢをぢ。ひろま。
たけのふ〳〵。ぶされ下ぢと。ゝ。ぢ。ゝ。
一ゝ。ゝ。ぬされこるサハ。ひろまちろんのう
ハぢふ。ゝ。ハ。ろ〳〵。ゝ。ゝ。ぢ。ゝ。ぢ。ゝ。ぢ



ゑんぬきつりけさんぱうゐちゐ乃ちぐ
二ッぐちんぬきのぶとさハかまちのあつ
さ四寸方
一たちぬのぶとさハうゐちけたぐ四ッふとり
一分。あゆさハ。まちにすこしちりあり
一角い柱のふとさハひろまれ柱めんうちふげ
のせい柱めんうちうでさのせい柱めんう
ちあつさハ柱三ッとり一ぶんのきれけさ
のせい柱三ッふとり二分。柱めんうちすき。
角いやゆいさのぐ八寸にして三まい。れ
ぐかうでいい上六寸中四寸下二寸。いさ
のあゆさい柱三ッにとり一ぶんのきれけ
一のきれけさ乃ゆどうちいさのぐとより
四寸いまてげきれそこにさぐむべし
一三まいれりのぐきい上六寸下四寸うぐでい
一さるぐしられふとさハぐしらめんうちすき分
うハむぬ乃ふとさハぐるがしら一本すき



ひら屋いぢうめんの事

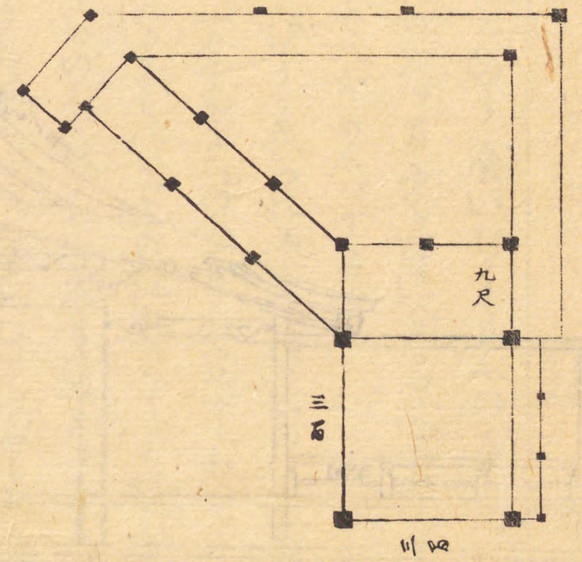
一柱の大サ百ゐて一寸一分。ぐるへおつさハ。ちゞまて八分。めんハ十めん

一とびらゝ面ちれ共とさ。柱うちのりを九ゐこりて。一分をかまちのふとさに宣べ。あつさハ面ちれたゞゐて八分。上の袖ぢゞ。されぶとさ。かまちのゞにて七分。ムらんぬきすりのさんハ。かまちれたゞ二ッ。ムらんぬきれふとさハ面ちの乃わりさに方

一たゞ紀のふとさハ面ちれたゞ四ッふゐりて

一ぶんぶ。わりさハ面ちふすこしちりわり

一ひろさ柱ちゐんの高サ壱尺八寸の内。ほぞの長いゐゐうんハ。一丈二尺八ゐ。むろまへとりつゐざる。長いゐゐんハ内法七寸。但しぢぶ巻一分袖づゞ。上ハへ伺も本ゐり右のんすちゝ



ぶくいのず

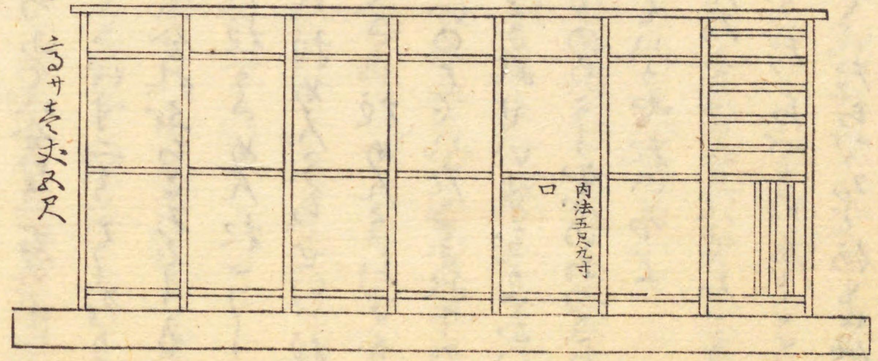
柱のふとさハ寸四分。いさゝれ乃たくさい。ひろまれたちゑんとゝかゝたくさん。こづひきぬきの言ッハきを丈一尺二寸。いさの上だゝ。ぬきの下をへわたる。ぬきれせい。柱ゝ。あつさ柱ゝて八分

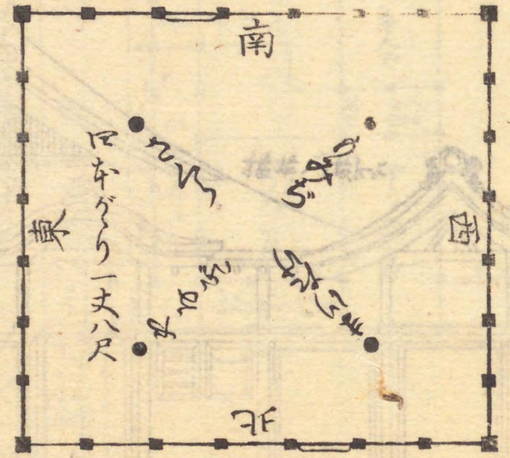
一大升大さハ。柱めんうち。三ッ寸二ゝり一分ゝ。面方へいぶゝて。大升の大サに定べし言サハ大升のそゞと五ッにゝりて三ッゞ言サハ。三ッとあゝゝりて二分ゝて足一分。おきめん二分ゝり。ちゞさい大升のたゝさゝゝ。ひぢきの下。だハ大升三ッふゝり一分。せいハ二分ほ。ほこゞとの老サハ大升れとゝゝりゝ。そゞハ右きめんきッせます。ゝりゝ。右大升れごとく一けゝのせいハ柱ゝ。下だハほき升れ大きさほど。こうとゝうせいハ百にて九分。下だハけゝとゝふゞゝ。そゝハけゝれせいゝ。一けゝゝうむゝ乃せいハ。ゝ尺七寸ゞうに。ゝて。ゝみゞれゝりゝます。むゝの大升の大さゝゝハゞ。ゝり。ゝう右のゞゝ一たるきれふとさハ。柱めんうち三ッふわりて一分。せいハ二分ほ。一こまいのゝゞハるゝ乃下をめんうち。たいハるきれせいます。きゝひの下だハたるゝの下でゝをます。せいハるゝれ

せいと下だとをさるひのせいふ宣尽し。
一ゑれいのせいゝるたゝれめ下だいさ
ゐひとおなじ。そりいうやないまかぼ
は二分ほ。うゝふあつさ。くやれいまぶん
でしいやないのせいゐどのさ七寸八尺八寸。
そふのゝらどころいうさゆをこッまにとり
てのきぐらゝり一分いれてそふ乃内のほ
らふさぐむべゝそふのちゞい下にあにて寸
うぞへよこ二分海ゝ下にそゝまゝいゝれ
ふいゝはそふのこゝ二まいなり
一ゆさざかゝらんの言ハさ尺六寸を七ッま
にとり。きッいゐこぎきッいゐげゝ。ひゝ
げされちゞ二ッぢふゝれふとさ二ッぢふゝと。
えゝけされおいきッ七分ま。ひゝけこと。おと
ぶゐおいきッ七分ま。乃上合ゝ七ッまこ
一おこぎれそりハ。木ま分。ぢふゝれそる
はぢふゝゐどぶゝ。そのゝどより。三寸
ゝゝでいのよこてをむきあげて。おと木
と。えゝげされ。ぬさふ宣尽ゝ
一ほゝ大サハぢふゝと。ひゝげされあい一ッ七分
ま。えゝげさと。おと木のあい一ッま。ますの
言サハ一ッまのところふて八分ワ。右のごと
一ちゝが。ま。柱のふとさ四寸二分。ちゝがり
四百ますの内三寸六分れ。ぶらところゝ
一えぢきれふとさハ。柱ゝゝめんれこゝ。
四方けゝの下でハ。柱めんゝちゝ。せいハ柱
ゐどゝふゝきれふとさハ。柱めんゝちゝま分
せいハ二分海ゝ。ゐいのちゞハたゝきれ下で
めんゝちゝ。せいハゝきれせいま分ゝやない
のせいハたゝ木ゝゝのめゝゝ。ふのあつさハ。
かやないま分。でえいゝやれいゐど
一ちゝぐゝり。かゝらんの言サハ一尺八寸。おこき
れふとさハ。柱ま分。たゝちづゝのふとさハ。
おこぎ一ちゝ。ぬきれぢハたゝちづゝゐど。のもに傳

鞠懸（まりがけ）

柱のふとさ四寸二分
ぬきのそば三寸六分
あいさい一寸二分
かさ木のつさ二寸二分
そばハ四寸五分
よとがてりあり
みぞぬきれこるサ
四寸五分上てぬく
内のりぬきのあいハ。
立まいり三寸一分れ柱七本。うちのり
ぬきのと。一寸一分の柱十二本。ふさだとび
ぬきれあい。一寸八分のその六本

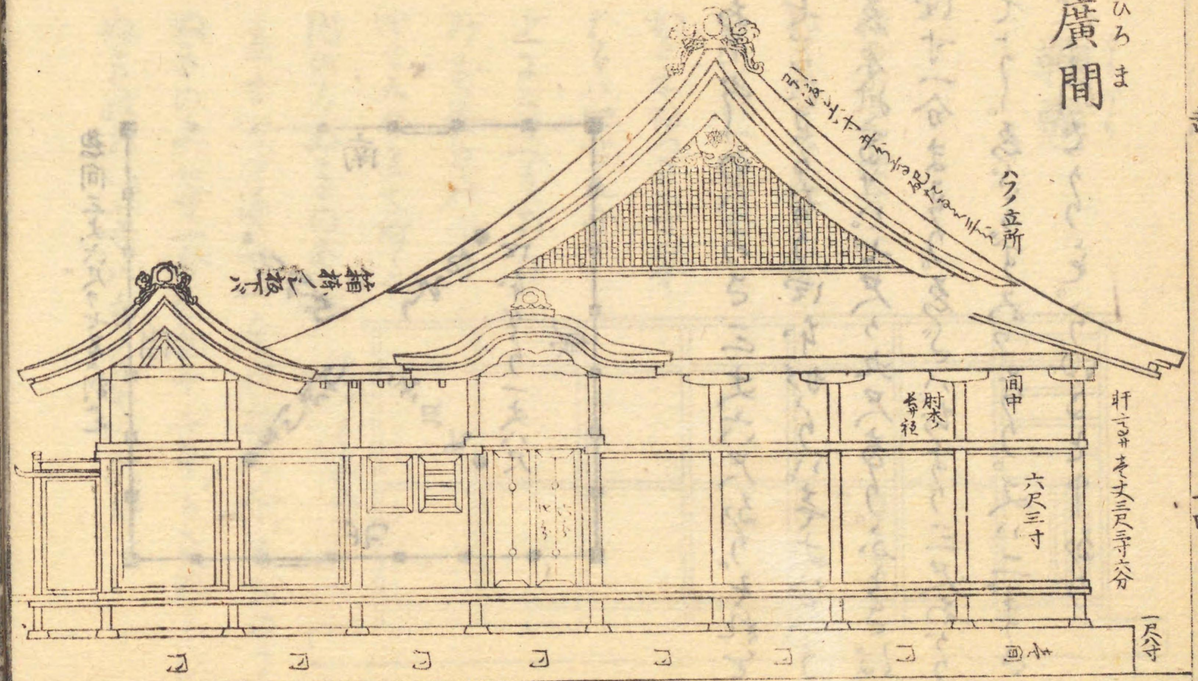


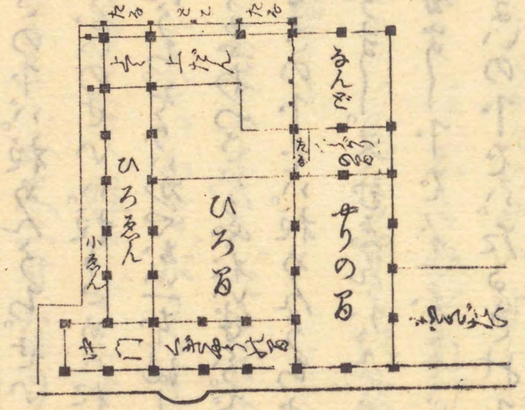


建間三丈六尺ヲ七間ニ割之

わきがりのひろさ三丈六尺あり。それを
七つにわるなり。四本がりハ。三丈八尺。う
ら木れこるサハ。七尺ゝ九尺あり。ふとさハ。
四寸一分まるり。ゑぐハ。ぢより三尺あがり
てよう。ゑぐゝずあり。又ハ二タまた
れきの所ゝ。ようるとやあり

廣間（ひろま）





ひろまの畳

六畳三七畳。六七四十二畳。その畳をでうとして
柱の大さ四寸二分。めんい七ッにきりく
一分を面方ぬめんふ宣屋し
一ふげしれふとさい。たくらめんうち
一れらえんのたくさい寸尺八寸。石の口な
いさ乃上だ近板のありさ。柱めんうち
まふ。ほうれふとさい。れとの柱めん
うち口方。えんうどられせいい。柱ゑど

あつさハ七〜八分
一むろ戸ノ言ハハ。れんの言ハハ。戸をあげし
一ハあげ。ひろ戸ノ〻ハりの板ぢきハ
なげ〜一ハ上て。おもの板おさに宜
むべし
一上ぢん言ハハ八寸。上〜だんの言ハハ。上ぢん
ようゑもちをど。ゐるなり
一ひだりのふとさハ。柱ノ〻めんれとしの方。
長サハ一こまひめれそこのめんうちふ合こ
一けさの下ハ。柱めんうち。せいハ。柱をど
一ゑやおいのせいハ。柱ノ〻めんれと。下ぢい柱
めんうち。そりハかやおいハ。ほゝハ二分ま〜
一ふ〜ふあつさハ。ゑれハ。ぢ。ゑやおいをど
一なるきの下ぢい。柱めんうちまゑ。せいハ
二ゑま〜。又むろん。たるきもせいハ
二分ま〜下を〻一ゑこさよるなり
一こまいの下ぢいたるきれ下ぢめんうち

せいハたるきのせいまゑ。こまいの乃
あゆこハ。ゑとみをあげてほりゑ
をこまひのぶうずこにうつゆうにあも
むべし
一ちゝ木れふとさハたるきの下を二ツ。
せいハこゐいをどたるくすべし
一のこされ長サハ。柱中ずこ〻かゆれいの。
そとまで。ゑ尺二寸なり
一ちふれうちれハ。柱中ずこ〻ゐ中入く。
こゐ立ゐ。ちふれふとさハ下ごめまて
すうぞ〜そうハ二ゑ。そり上ふ三分ほ。
下すこ〜ま〜あり
一中門をこむゆの〜れ下ぢを。むろまれ。
ま〜ずみれ下ぢと。ゑとかほべ〜ほゝさ
ちうちんるゝ時ハ。ちふの立どころ
ハ。かゝゆゆとゆ。ゑ。ゑ。ゑ

はらふさぐむべし

一げんぞううちぐいちふれこし二まひ。
行ちうしの大サげぞううちぐ寸ほうよ
して。六角にきつとぐしのふとさい。
げぞう十三にほり。子れうだセッ
あいかっこ。但しぬきハ子れふとさ二分ま
一ちこむしの大サいちふのこう二まい。六ッ
にほりて一分をしのふとさにして。
ゑサハつの内ゑてハ分。こまいぐらい乃
上ようしの下ふさぐむべし

同車よせのゆ

一かっちふれちぐいやかいのせいとうう
ぐふのあつさと。庫ちふれちぐにさぐむ
庫し。ひのつさいやかいのあさをふめん
きッあつくしく。かすてにちさこのり。
ひのこるサハ。ちゑうぶけさの百をぼッよ
ほりて。一分をうやかいの乃下をより。

ちちふのよこのつるいだしうむをいちゑうぶ
けさの中ずこをみッよしり中二ッ。
あこさきッづ。合てみッこ。内ぐさいふさ
こるめれ。ちるさ乃そとあつに合ちり。
こびのをい。それようちふれせいゆ分出。
庫ぐ。ちふのむげこハ。ちこさとうやかいのころ
びとのあいふさぐむべし

一うちぐりれせいハ。柱きゆとめん二ッちり。
けさと同ゆ。ちりはめんきッ

一ちと板の長サハ百ゆ分。その内ゑゆうゑ
一ゑすぐさの大サ柱一ゆ。ゑサハ別合こ

同車よせ小柱のゆ

一小柱の大サ。ゆ柱めんうちこびのあひハ。小
柱ゆ分。庫いぐくれ大サ小柱ゆどにして。こ
ぐしらこゆちうけて。上れ庫いぐくい。百立
ちふをいぐし。柱のめんうちへ。ふさむる。
下ハゆあげし。む祢いめんきッいぐして

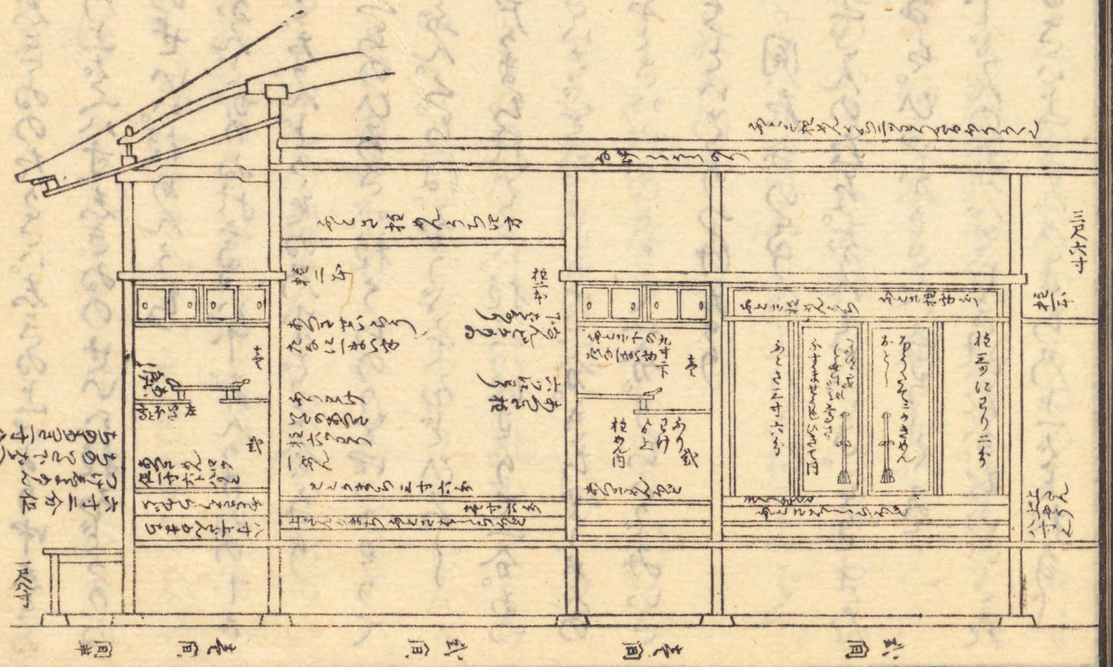
屋いぢくれつゝとあふこ。たゝぐらてもでハ。
ついぢくより。柱きな。あげさハめんうち
ほッふりうくき分。ほぐさい柱おりてほッ
にゝり一ふ。けゝ臣をまぐさと同ゆ
そゞあげきんゞれゆ
一れんゞれゆるハ。上下れゆ面ちふげ。そゞに
して。中ふ柱三ないたゝむ。ゞれゆず七分十三
六分十五。そゝは角れんゞ同い表ゆゝ
中門のゆ
一うはゞりれせいハ。六寸六分。但百ゆそすうゝ
一ゆゞきれゞサハ。きゝ七寸九分。これいそゞ
のゞ。ゞがいゝる木一なゆてゆ百。あゆこ
はゝゆのゞ。きなゆむろきふゝつて。ひゞゞ
ゝなゞ
一そゝとのゝらかゞすれつゝいゆげ〜二な
さはゝふゝさハなげ〜きな
一ゝうはまゞちふれゆをさハゝうゝまて柱

きなゆ。上ニ二ゝ面〜下ニきゝ分ま
一行のゝれ大サ柱めんうちは方。その
十をニッにゝりてセッゆ。たゝむゆゝ。
内二ッハ上下れゝ。たゝニッ上のゝさ
二ッゆ。合七ッゆ。上下れゝゆゝふし
きゝ。たゝきゝのゝふゝさハ姫〜ゆゝ
同たゝてゝれゆ
一ゝうゆのせいハ。柱めんうち二ッゝゝ

一ゝきゝゆのせいハ。ゝゆゝ乃せいとれなゞ
一ゝきゝみハ。ゆげ〜内のゝ。十にゝり上ゝ
ゝゝ六ッ。下ゝきゝんほッゝゆちのゝゞハ。
柱二ッにゝりゝく。一ゝ。あつさハ。ゞゞを二ッ
ふゝりて二ゝ。ゝゝをふハゝゆちはぶん
まいゝゝゞハ。ゝずみにかゝせまゝ。
あつさハゝゞはゝ。あゆゝハ三十六ハゝハ。せ
ゝ。ゝうくハあひをゝれめゝてあゆむべし

一こしらえかまちはちぶ。柱めんうちまる。
あつさはちぶを三つにわりて二分
一ちりあつさはちぶ。柱めんうち
まる。あつさはちぶを三つにわりて二分
一ちり戸うあちはちぶ。柱三つにわりて
一分。あつさはちぶを三つにわりて二分。
まいりはちぶ。うあちはちぶまる。あ
はさはちぶまる分

えんどうまど
納戸構



ふんどう海へのす

一たきぬのたゝさ。たきぬ上ばより中たきぬ乃上ゞ八寸。たきぬのせい。柱めどうゐぬのせい。柱めんうち

一ふんどかゐぬれ言ゞ。下だんゐゐぬの下ゞと。なんどゝをぬ乃下だゝと合ゐり

一ゐちのひろさ。柱うちのりをにッふりて

一ぶんゝちは。ゐうぶてゐどひろ〳〵

一戸ゐまちれちゞい。柱二ッにとりて一分。あつさいたゞを二ッよりて二分。きちゆうめんの和さい。六ふりて一分。うちくゞみいゝ。そといたりつけなり

同たゐのす

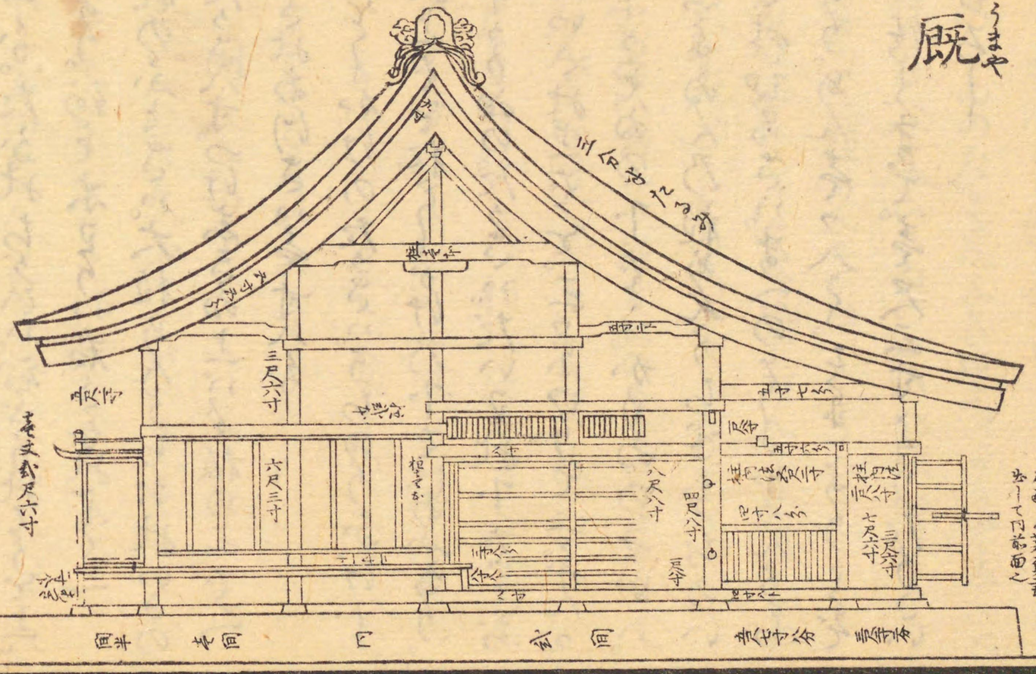
一上ゞんのたな。ふんどれつゝさ。をもきたゐを。ひつゐゝに入る〳〵くゐ

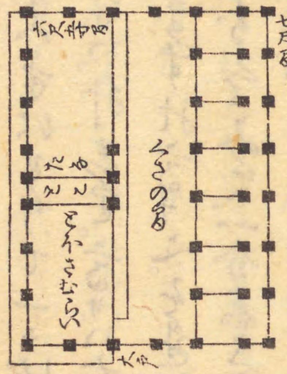
一下ゞんのゐんどやきれたゐ。ぢのいゝたゝさ。上ゞんゝまち乃上ゞをれゐゞ言ゞ。どゐりたゝふゝゐぬのあひい九寸三分。たふれちゞひい。むゞゐれをゝを上ゞなり。何を本ゐりい。右ゝをれゞゝ〳〵

一柱のふとゝさい。大柱めんうちゞれいゝのたゝさ八寸。つけたきぬ上ばゐ板の上ゞ。いゝれありゝさいをゝ寸八分

一柱ゝ〳〵かけのたゝさ。うちのりゐげ〳〵れ上ゞを柱ゝ〳〵げ乃下ゞにあふゐり。中ゐゐぬのたゝさ。だいゝれ下ゞゝとぢのいゝれ上ゞを。二ッふりて二ぶんゐ。中ゝをぬの下ゞゝ。かゐぬのせい。たゝよめん乃柱めんうちまゐ。ぢのいゝれをゝろさい。まへのゝ〳〵らめんうちよりめんをッ入ゝ。そをよりゝをぞのはゝまで。をゝ尺二寸ゐりたゝゝいむゐ〳〵

厩





むまやのず

一七尺むまやの柱いけゝゆき七尺ゑりゆき六尺五寸なり。こやさむらい二尺。ふさ長二尺だちいぬ九尺ゑり

一こやさむらいゑんの二尺さいひろまれさりめふげ。きッさごるゑり。又むまやれぢぶゆうい。ゑろまよりいひくゝ。とゆくゝを。きりめふげゝきッちびひてたてべきとのこ

一柱の大さ四寸二分。めんい十めん。ゑげゝのふとさいぬゝらめんうち。きりめなげゝふ二寸きゑ。むゞ形を。はゝらうこめん

れかへ二方円。長サハたるさ一こまめの
そとのめんうちふ合こけさせいを
柱ゑど。下だい柱めんうちたるきれふと
さ柱めんうちまろ。せいい二ぶま〜。
一こはいの下をいたるきの。〜れハめん
うち。せいいるる木れせいはふ。ゆやおひの
せいい。柱ゑさめん柱と〜。下だい柱めんうち。
円まゑい七ッにとりて下ほッこう〜かふ。
あゆさハ。ゆやおひ上まゑゑど。でそいふ。ゆや
おひのせいゑど
一さすぼられふとさハ。なげ〜乃せい二ッ。
円さとゑるげ〜ゑど。ほをの大サハ。柱一
ゑ本まゑまにとりて一ッぼくゑるのこり
三ッはハ。升ゑ上。ゑるサハ右のゑッまを
三ッ。ますれゑるサハ。そまをゑッにとり
て。二ふくみて。一分ゑさめん二ふくり。
一ふれふとさハこう〜にく柱二本上ゑ

三ふま〜。下に長分ま〜
一とゑさゑむらハのされ長サハ。ゑ尺二寸。円を
さりれるのさ乃長さハ。ゑりとをひ〜き
て。戸ゑりとうゑらのつ〜こうり。ゆやおひ
二本ぶ〜て。ゆやおいのつ〜にさぶむべ〜
一ゑり戸けこゆきれんど。ゑられふとさ
柱ゑふ。きちゑうめんゑ。ゑんどうぞは。
けこゆ紀ゑゑふ。十八本づ〜。又ゑり
ゆさに十七本ぼくゑり
ころをうひの言サハ。三尺六寸。いされ上ゑ
ようゆゑられ上ゑ〜上下乃ゑまちの
ふとさハ四寸八ふ。あつさハ三寸六ふ。まい〜
のふとちハ三寸八分。うゑ九ッあひ一寸八ふ
ようハ。あけざるゑ
一ほるゑ柱のふとさハ。うき八寸あつさ七寸
四ふ。但めんいふとさゑのこ。ゑゑ〜くれ
さえゑ〜られふとちハ四寸武ふ

一ゐのしたけ。ぬきの言サ。大戸うもぬの上ハ
と同言サ。ぬきれたるハ五寸六分。あつさ
二寸四分。たるれ柱サのほうより八寸ぶ
して。こぶ〜ふさぶむなり
一たるうけけされせいい柱わど。下を
柱めんうち。同さるうれうけ八寸横八寸く
一ぬきりぬきれ言サハ八尺八寸板の上を
よりぬきの乃上を通同ぬきのたるハ六寸
四分。あつさハ二寸四分。うぶとけされふさいさい
八寸四方。その上うぶみてんぶ。ぬされるふ
ぶべ〜。ぶわさむ〜いい。さるぶう天井。ぶそ
さりれ百ハやう〜なり
一大戸うもぬきのせいハ八寸。二百ぶかし。
ぶるいかげ〜のむ〜わど。戸まへふ四寸の
こうぶ四寸れ小柱あり。戸あうの柱ハ二寸一分。
戸乃うもちれふうちハ。柱まうの四方。さん
ぶ見せれてい。うもちわど。あもこせうハ

ところもうけれ上ぶと。中さんのしたと。あふ
ぶうあてその上ぶさん二本。その下ハさん四
本。中ぶんぶ二合七本。戸あと二百へもい
あゆこをいう〜てぶめふぶべ〜
一ちりどうあうちれふとさい。柱まうの。さんの
うぶ六本。中ぶんのたるさん二本。但ぬるん
ぬさずりなり
一ちり戸あうだてのたるハ六寸めう。あつさ
ぶ寸四分。ゆぐさい。大戸うもぬの下をの
一寸八分。さげてぬきをぬく。ぶふたうち
まぐさにりちゆぐさなり
一とぐうゆ言サハ四尺八寸。下れ百ん八ぶ尺八寸。
板のしたばが百んのしたば通。百ん大サわの四こて
ぶ寸八分。上れ百んハ五。下れ百んハ横よ
打で。同わり行の言サハ。ゐのしたけの
下より八寸さげてうゐ屋〜いづれも
右く書口伝あるべく

国立国会図書館